

# 5月オレンジだより

オレンジ保育園

平成30年5月1日発行

この欄は保護者の皆様からの苦情ご意見・質問などにお答えする欄です。

ご意見などがなかった月は保育園の様子や子育てについて園長が書きます。

「♪柱の傷は一昨年五月五日の背比べ〜♪」昭和の童謡「背比べ」という歌の歌詞です。あの頃は今のよう身長測定器がないので家の柱に高さを刻み毎年どのくらい大きくなったと比べて大きくなったことを喜びあうことが「こどもの日」でした。

時代の変化と共に文明の利器が家族・近隣・地域との関係が希薄にさせつつあります。いつの世でも人として互いに繋がり合い、最低限のマナーやルールを守り、子ども達に大切な物を残していく事が、私たち大人としての責任ではないかと改めて「こどもの日」にちなんで考えてみたいことです。

子どもの権利条約は子どもの「育つ権利」「生きる権利」「守られる権利」「参加する権利」を保障しようと言う憲法です。

GW という長いお休みの中で、子どもたちが色々な事を体験し、楽しかったことを語ってくれるか楽しみです。子どもの頃の思い出は大人になった時の栄養素ですよ！

## お知らせ

オレンジ保育園は140名の児童定員を抱え、待機児童の貢献に努めておりますが、近年は行政への報告事項・職員の人材育成・保育の質と園長の仕事が多くなり、園長一人では負担が過重となりました。

そこで、現在フリーとして在籍して頑張っております「池間 鎮」を副園長として昇格させ、より一層の子どもたちの安全・安心を支えるために精進いたしたいと思っておりますので、皆様にご報告させていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

## おねがい

### 園での薬の取り扱いについて

保育園は、医療機関ではないので基本的にお薬をお預かりすることは出来ません。

体調不良で受診する際は、医師に薬は「朝・夕」に出来ないか相談して下さい。(耳鼻科や小児科では大抵の薬が朝・夕にしてもらえます) どうしても1日3回必要な場合は状況をお伝えしていただきお預かりします。

- 必ず医師の処方したお薬である事。
  - お薬の説明書を必ず持参して下さい。
  - 毎回、1回分づつ小分けにして、クラス名・名前(姓名)日付を記入して下さい。
  - 所定の「薬の依頼書」を記入し薬と一緒に必ず保育士に手渡して預けて下さい。手渡しがない場合は与薬は出来ません。
  - 処方された薬は必ず、自宅で1回以上服薬させてから持参して下さい。
  - 薬の服用間隔は4時間以上開けなければいけない物があります。朝、自宅で服薬した時間を毎回伝えて下さい。
- ※ 以上の事が守られていない場合は、与薬できませんのでご協力お願いいたします。

## 5月の行事

- 3日(木) 憲法記念日
- 4日(金) みどりの日
- 5日(土) 子どもの日

休園

12日(土) 親子遠足・お弁当会

(午後職員研修の為家庭保育協力をお願いします)

21日(月) 避難訓練

24日(木) お誕生日会

26日(土) 0.1.2歳児 保育参加

## おねがい

子ども達の歯ブラシの交換を忘れた時・パンツの着替えを忘れた時、子ども達は大変かわいそうです。他児の物を借りたり使いまわしたり出来ないので困っています。園では、やむなく新しい物を購入して渡してあげるしかありません。(その時は実費負担になります。)なるべく、子どもが快く過ごせるように忘れないように心がけてくださいね。

## 朝ごはんはなぜ大事?

「朝ごはんが大切」とよく言われますが、なぜか知っていますか? 実は、脳や体によいことがいっぱいあるのです。

**脳が元気になる!**  
朝ごはんは、睡眠中も働いてエネルギーが少なくなった脳に、エネルギーを与え、元気にします。

**肥満防止になる!**  
朝きちんと食べると、昼ごはんの食べすぎがなくなり、太りにくくなります。

**うんちが出やすくなる!**  
腸が刺激されて活発に動き出し、排便を促します。

**活力が出る!**  
体温が上がり、血液が体中によく巡って、活動的になります。



## 毎朝うんちでおなかすっきり!

「おなか痛い」と訴えてくる子のほとんどが、朝、排便を済ませていないようです。朝食をとると腸が動き出し、うんちが出やすくなります。毎朝の排便を習慣づけましょう。

朝ごはんをきちんと食べる

トイレに行く時間をもつ



うんちは健康のパロメーター。うんちでその日の健康をチェック!

## 保育園での虫刺され予防!

これから先、虫刺されが多くなる季節  
オレンジ保育園では、戸外遊びの時、虫刺されしやすい子は、薄手の長袖シャツや長ズボンを用意してもらい着用させたり、園のオリジナル、アロマエキスの虫よけスプレーを用意し子ども達の服に散布して対応しています。  
(市販の虫よけスプレーには、子どもに悪影響を及ぼす「ディート」という成分が入っている為使用しないようにしています。)



## 小さい子の食中毒にご注意を

じめじめした梅雨から夏にかけては、食中毒が発生しやすい時期。食中毒の原因になる細菌が、活動しやすい湿度と気温がそろっているからです。食中毒になると、下痢、おう吐、腹痛などの症状を起しますが、0、1、2歳のころは、けいれんを起こしたり、意識がなくなったりすることも! 重症化しやすいので、調理するときは必ず手を洗い、新鮮な食材を使いましょう。

